別添－３（土工）

ＩＣＴ活用工事（土工）計画書

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | 作業内容 | | 適用する技術番号 | 技術番号・技術名 |
| ①３次元起工測量 |  | |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量  ２．地上型レーザースキャナーを用いた起工測量  ３．ＴＳ等光波方式を用いた起工測量  ４．ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量  ５．RTK-GNSSを用いた起工測量  ６．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ７.地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量  ８．その他３次元計測技術を用いた起工測量  〔８を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　　　　　　　〕 |
| ②３次元設計データ作成  （必須） |  | | | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ICT 建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない |
| ③ICT建設機械による施工 | □ | 掘削工 |  | １．３次元マシンコントロール（ブルドーザ）技術  ２．３次元マシンコントロール（バックホウ）技術  ３．３次元マシンガイダンス（ブルドーザ）技術  ４．３次元マシンガイダンス（バックホウ）技術  ※採用する機種及び活用作業工種・施工範囲（別途平面図による）については、受注後の協議により決定する。  ※当該工事に含まれる左記作業の工種のいずれかで、ICT建設機械を活用すればよい。 |
| □ | 盛土工 |  |
| □ | 路体盛土工 |  |
| □ | 路床盛土工 |  |
| □ | 法面整形工 |  |
| □ | （　　　　　） |  |
| ④３次元出来形管理等の施工管理 | □ | 出来形 |  | １．空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理技術  ２．地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理技術  ３．無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理技術  ４．地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理技術  ５．ＴＳ等光波方式を用いた出来形管理技術  ６．ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理技術  ７．RTK-GNSSを用いた出来形管理技術  ８．施工履歴データを用いた出来形管理（土工）  ９． 施工履歴データを用いた出来形管理（河床等掘削）  １０．地上写真測量を用いた出来形管理  １１．その他３次元計測技術による出来形管理技術  〔１１を選択した場合の技術名称：　　　　　　　　　　　　　〕 |
| □ | 品質 |  | 1. TS・GNSSによる締固め回数管理技術（土工）   注２）品質管理をしない理由  〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕 |
| ⑤３次元データの納品  （必須） |  | | | |

注１）ＩＣＴ活用工事の詳細については、「ＩＣＴ活用工事（土工）試行要領」及び特記仕様書によるものとする。

注２）採用する技術番号欄には、複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。

（「採用する技術番号」欄の記載例 ： 「１」，「１，３」）

注３）①、④において、「その他の・・・」を選択した場合は、その技術名称を記載すること。

注４）一部活用の場合は、下表にあるタイプを採用すること。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセス区分 | ＩＣＴ  全活用 | ＩＣＴ一部活用 | | | | |
| タイプ① | タイプ② | タイプ③ | タイプ④ | タイプ⑤ |
| １）３次元起工測量 | 〇 | 〇 | ― | ― | 〇 | ― |
| ２）３次元設計データ作成（必須） | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |
| ３）ＩＣＴ建機による施工 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | ― | ― |
| ４）3次元出来形管理 | 〇 | ― | 〇 | ― | 〇 | 〇 |
| ５）3次元データの納品（必須） | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 | 〇 |